

浜田地区更生保護

浜田市旭町・都川の棚田 杉田雅弘保護司撮影

第7号

平成27年7月1日発行
浜田地区保護司会
事務局：浜田市松原町240番地2
TEL.0855-25-5345

この度浜田地区保護司会の会長にご推挙いただき就任いたしました。
大源前会長、並びに歴代会長諸兄が築かれたご功績をしっかりと受け継ぎ、自らの役割と責任を全うすべく懸命の努力をいたす所存でございます。
浜田地区保護司会会員の皆様には、日頃より更生保護活動に深いご理解をいただき、さまざまな活動をおして保護司としての役割を果たしていただいているところであります。
また、関係諸機関・団体、地域の皆様には、私たちの活動に対し常に適切なご指導やご協力を賜っており、深く感謝いたしております。



浜田地区保護司会
会長 塩谷法顕

就任ごあいさつ

浜田市・江津市にお住まいの皆様には、平素から、犯罪や非行のない明るい社会づくりの御理解御協力を賜りまして、心から感謝を申し上げます。
浜田地区保護司会におかれましては、塩谷法顕会長をはじめ保護司の皆様方が、保護観察や生活の環境調整、さらには犯罪予防活動など更生保護の諸活動を積極的に展開され、大きな成果を挙げてくださいいただいているところであり、皆様方の日頃の御労苦に対しまして深く敬意を表しますとともに、厚く御礼を申し上げます。
現在、国を挙げて取り組むべき課題の一つが再犯防止対策です。昨年十二月に開催された犯罪対



松江保護観察所
所長 國府 実

着任のごあいさつ

策閣僚会議において、全ての国民とともに『犯罪に戻らない、戻さない』立ち直りをみんなを支える明るい社会を創り上げることが宣言されました。

この宣言では、再犯防止につながる「仕事の確保」と「社会での居場所づくり」を強化していくことが改めて確認されるとともに、犯罪や非行をした人々を社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れることが自然にできる社会にする、という目標が掲げられました。

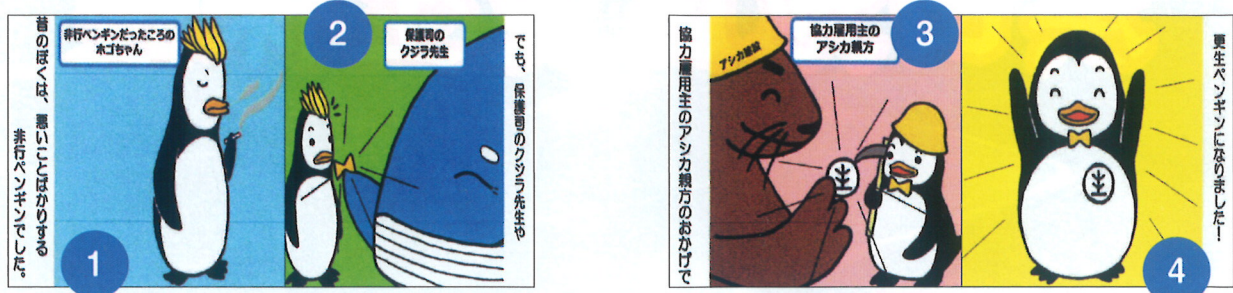
松江保護観察所職員一同は、地域の皆様そして関係機関・団体の皆様とも一層連携して、目標達成への取組や安全で安心な地域づくりに向け努力して参りますので、今後とも一層の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、人間関係が希薄化している現代社会のなかで、かつて耳にしたこともないような重大犯罪や、家庭崩壊等、従来なかった新たな課題も多くな生まれてきています。

私たち保護司は、今後一層視野を広げ、深い見識と洞察力を養って、こうした諸課題に立ち向かい、関係諸機関・団体との連携を更に強固にして、罪を犯した人たちの立ち直りの支援、地域の犯罪予防活動に率先して立ち上がることが求められています。また、これからの保護司活動の充実強化を図るため、当地区でも昨年度は更生保護サポートセンターを設置いたしました。更生保護活動の拠点として、今後その機能を十分に発揮していくことが期待されます。

今後とも、皆様方の一層のご理解ご協力をお願いし、ごあいさついたします。

ホゴちゃんの更生物語



ホゴちゃんとは、地域の安心・安全を守る更生保護のいわゆる“ゆるキャラ”です。昨年実施された「法務省☆キャラ☆グランプリ」でも74キャラクターエントリーのうち、見事8位に輝いております。

そのホゴちゃんですが、上記の4コマ漫画を見ての通り昔は悪いことばかりをする非行ペンギンでした。

以下4コマ漫画に沿って、適宜脚色を加えながら説明したいと思います。

ホゴちゃんの周辺には、悪友と言われる友達がたくさんいました。その影響もあって、ホゴちゃんは少年院に入っていました。

少年院に入った少年の大半は、仮釈放（仮退院）となり、社会に戻ってきます。その間、保護観察を受けることとなります。保護観察は、地域のボランティアである保護司さんと国家公務員である保護観察官が二人三脚となって、少年の再犯（再非行）防止と自立更生を支援します。浜田市や江津市にも約70名の保護司さんが日夜支援を続けておられ、クジラ先生もその一員です。

なお、クジラ先生、実は保護司会の事務局も担っています。しかし、これまで保護司会の拠点となる事務所がなく自宅で事務をこなしていたところ、市の多大な協力のお蔭もあって、浜田市内に更生保護サポートセンターを設置することができました。今はそこが保護司間の情

報交換の場であり、また地域の安心・安全のための相談窓口となっています。

また、保護司さん以外にも、アシカ親方のような非行歴を承知の上で雇用していただける協力雇用主をはじめ、女性の立場から支援いただいている更生保護女性会、島根県立大学の学生を中心として構成されている少年のお兄さんお姉さんの立場で支援いただいているBBS会等、多数のボランティアの皆さんに支えられています。

ホゴちゃんは、クジラ先生やアシカ親方らの支援もあって無事に保護観察を終え、更生ペンギンになったのでした。

しかし、それだけでホゴちゃんは更生ペンギンとなれたのでしょうか？更生を信じる地域の皆さんの温かいまなざしがあったからではないでしょうか！

犯罪や非行をした人も死刑や無期懲役等の一部を除き、大半が社会に戻ってきます。そのうちホゴちゃんのように更生する場合もある一方で、再犯（再非行）にいたる場合も少なくありません。数字的に申しますと、犯罪全体の約6割を再犯（再非行）者が占めており、その対策を進めることが犯罪を防止するためには必要不可欠であることがわかります。

“犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ”をサブタイトルとした“社会を明るくする運動”も今年は第65回目を迎えます。その主旨は「すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くため」となっています。

今年は、左記のとおりこれまで法務大臣であったところ、オールジャパンでの取り組みが必要との観点から、内閣総理大臣から国民の皆様にあてたメッセージも届いております。

是非とも犯罪や非行をした人を社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れることが自然にできる社会にするため、ひいては、犯罪や非行のない安心・安全な社会づくりを実現するために、地域の行事に参加するなど、ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、ホゴちゃん、地域の支えもあって、今ではすっかり皆の人気者。

今日も、立ち直りを支える宣伝マンならぬ宣伝ペンギンとして、汗を流しているのです。



更生ペンギンのホゴちゃん

第65回 “社会を明るくする運動”
～ 犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～
の推進に当たってのお願い

“社会を明るくする運動”は、全ての国民が、犯罪や非行の防止と、あやまちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築こうとする全国的な運動です。

安全で安心な国づくりは、我が国の経済成長や女性・若者が輝く社会の基盤であり、地方創生の礎となるものです。そして、我が国に、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を控え、「世界一安全な国、日本」をつくり上げなければなりません。それを実現するためには、犯罪の約6割を占める再犯を防止するための対策が喫緊の課題であり、あやまちから立ち直ろうとする人たちが地域の中で適切な「仕事」と「居場所」を確保し、社会復帰することができるよう支援することが重要です。

政府においては、昨年12月、再犯防止に関する宣言「犯罪に戻らない・戻さない」を決定し、この問題に正面から取り組んでいくこととしました。国民の皆様には、再犯防止及び“社会を明るくする運動”の社会的意義を御理解いただき、犯罪のない幸福な社会づくりに取り組む決意のしるしである「幸福（しあわせ）の黄色い羽根」のもと、様々な分野から多くの方々の参加をいただけますよう御協力をお願いします。

平成27年2月10日
内閣総理大臣 **安倍晋三**

松江保護観察所

企画調整課長 西 江 尚 人

「浜田地区更生保護サポートセンター」

開設と今後の運営について

浜田地区更生保護

サポートセンター

センター長 永妻 壽則



開所式・大源会長あいさつ：「いわみーる」

浜田地区保護司会の念願でありました更生保護活動の拠点である「浜田地区更生保護サポートセンター」が昨年十二月十八日の佳き日、開所式を挙行することができました。

法務省の指定を受けてから開所に至るまでには、さまざまな課題や紆余曲折はありましたが、松江保護観察所をはじめ浜田市や地元松原町内の皆さま、そして江津市や施工設備関係者の皆さまのご指導、ご尽力により、県内では松江地区以下五番目として開所の運びとなりました。

このセンターは、浜田市松原町内にある浜田市所有の元中国電力(株)社員寮の三階三室を事務室、応接室、研修室として配置し、環境も静かで駐車場も広く好条件に恵まれた立地となっております。

当日の開所式は「いわみーる」で開催し、

来賓には中村明英松江保護観察所長様、久保



事務所(3階)より町内を望む



除幕式：「いわみーる」

田章一浜田市長様、山下修江津市長様、坂本圭祥県保連会長様をはじめ関係機関、団体から多数のご臨席を賜り、また地区保護司会保護司を含め約八十名の参加のもと盛大に開催することができました。

浜田地区保護司会の大源富夫会長

(当時、本年一月十一日体調不良により急逝)は挨拶のなかで「今後はこのセンターを中心に、明るい社会を築くためそれぞれの立場で、お互い力を合わせ地道な努力をしよう。」と決意を述べました。

このサポートセンターには事務局を担う三名の企画調整保護司を置き、地区及び分區(浜田、那賀、江津)の保護司会事業の企画、運営や関係機関との連絡調整、非行防止や広報活動、その他更生保護活動全般の事業の推進に努めることとなります。

近年、浜田地区では犯罪・非行や保護観察事件は以前に比べると減少傾向が続いて少なくなっていると言われておりますが、そのことは関係機関や関係者の積極的な取り組みの賜物であり、また私たち保護司の活動もその一翼に携わることにより職務の重要性を改めて認識し、今後も犯罪予防活動にはより積極的に連携する必要があると考えております。こうした状況下「浜田地区更生保護サポートセンター」として、保護司会の事務所や

保護司のみの活動の拠点ではなく、安全で安心な地域社会の構築にさらに力を合わせ、青少年健全育成や、社会を明るくする運動など、与えられた使命の推進にむけてその機能を十分果たすよう取り組む所存であります。

改めて関係機関の皆様方には浜田地区保護司会に対し今後ともご指導、ご協力をお願い申し上げます。

なお、故大源富夫前会長には「浜田地区更生保護サポートセンター」開設にあたり、事務局の情報機器(パソコン) 什器備品(机、応接ソファ、掃除機等) 看板、表示板など物心両面にわたり多大のご援助、ご支援を賜り、円滑に開所できたことを紙面をお借りしてご報告させていただきます。ありがとうございました。



事務室・応接室・研修室



事務室内部



社会を明るくする運動



保護司会の活動

浜田分区・那賀分区・江津分区

毎年7月は「社会を明るくする運動」
強調月間として、各分区とも特色
ある取り組みが行われています。



街頭啓発活動

- 「社会を明るくする運動」強調月間によせて、
法務大臣メッセージの伝達
(本年度より内閣総理大臣メッセージ)
- 「社明運動」推進委員会及びミニ集会の開催
- のぼり旗の掲出及び街頭啓発活動
- 中学校を訪問し、連携強化を図る…など実施



浜田分区

★ 浜田分区では、今年度年間を通じ次のような活動を計画しています。

- 6月24日……「社会を明るくする運動」
・推進委員会総会……総合福祉センター
- 7月 1日……「社会を明るくする運動」
・総理大臣のメッセージ伝達式……市役所
分区長から浜田市長へ
……「青少年の非行・被害防止強調月間」
・県知事、県警本部長、県教育長メッセージ伝達式
浜田警察署長から浜田市長へ……市役所
・「社会を明るくする運動」街頭啓発活動
保護司・更生保護女性会・警察署員
- 8月 4日……鳥根あさひ社会復帰促進センター
・矯正施設参観研修



- 8月 8日……いきいき子供神楽大会……ゆめタウン浜田
- 8月 9日……小学生健全育成ソフトボール大会
……原井小学校
- 9月27日……ジュニアカップ(中学生ソフト)
……第二中学校
- 11月中旬……県更生保護関係者
顕彰式典に参加(該当者)……松江市
- 1月下旬……更生保護3団体合同研修会
……ジョイプラザ



その他年間4回松江保護観察所観察官による専門研修を実施しています。

江津分区

● 江津分区では平成26年度石見地区保護司代表者会議の担当として昨年10月28日パレス和光において開催いたしました。年一度、石見地区の大田、邑智、益田、浜田地区の役員保護司が一堂に会し、来賓の中村松江保護観察所長、西江課長、江津市藤井参事のご出席を得て、24名により各地区の運営状況報告、財政問題、要望事項など幅広く有意義な意見交換を行い今後の参考になりました。また、アトラクションとして石見智翠館高等学校吹奏楽部のすばらしい演奏会では、飛び入りのカラオケ大会もあり大いに盛り上がりました。

● 毎年“社明運動”強調の月間の初日、保護司、更生保護女性会、江津警察署の協力を得て、JR江津駅前では通勤、通学生徒を対象に街頭啓発活動を行っています。



● 社明運動推進委員会は推進委員長である田中江津市長をはじめ、関係者70名が出席し大源江津分区長から谷垣禎一法務大臣メッセージが伝達されました。



法務大臣メッセージ伝達式

● 夕方からは、市内大型店グリーンモール、キヌヤ二宮店、ジュンテンドーにおいて買い物客を対象に啓発活動を実施しました。



石見地区保護司代表者会議

● 江津分区では永年、市内中学校から“社会を明るくする運動”にちなみ標語作品を募集しており、厳正な審査を経て優秀な作品を表彰しております。昨年は10月10日市役所において開催し、田中江津市長及び大源分区長からそれぞれ賞状と記念品が贈られました。



那賀分区

◆那賀分区全体で取り組む主な活動は、隔年実施の県外施設参観研修と保護司・更生保護女性会合同の自主研修会を開催しています。



昨年は、八月五日島根県消費者センターを講師に招き、今、関心の高い、消費者問題をテーマに高齢者・障害者の消費者被害を防ぐため、地域の「見守り力」を高めよう！と学ぶ。

そして、自分は騙され易いのか、どうか、設問に真剣に答え、それぞれ自身のヒントを掴んだようで、正に、時機を得た研修をすることができました。

◆旭班・金城班では、隔年日帰り施設参観研修を行っています。

研修風景：「浜田市総合福祉センター」

昨年十月二十二日、保護司九名、更女十八名でPFI方式（官民協働）の刑務所第一号の美祿社会復帰促進センターを訪れました。

センター長の講話、施設の説明、施設参観を終えました。

偶然にも小野和典センター長は、島根あさひ社会復帰促進センターの誘致決定時から法務省職員として、特に地域の皆さんと接しておられ、開所当初は課長として勤務されました。顔なじみの者も多く、話は尽きず別れを惜しんだ一日となりました。



小野センター長と共に「美祿社会復帰促進センター」

更生保護を支える

ボランティア団体

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

◎保護司

犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるボランティアです。保護観察官と協働して保護観察にあたるほか、犯罪予防また学校との連携に幅広く活動しています。

平成二十六年年度

島根県更生保護功労受彰者(敬称略)

更生保護功労により次の方々を受彰されました。おめでとうございます。

法務大臣表彰

水口 清子(浜田) 花田 和代(浜田)

全国保護司連盟会長表彰

山根 英毅(江津)

中国地方更生保護委員会委員長表彰

塚本 朝代(那賀) 三上 良紀(江津)

松江保護観察所長表彰

新田 哲朗(浜田) 中田 嘉明(浜田)

神山 哲夫(江津) 桑原 英寿(江津)

賀戸 重幸(那賀) 岩崎 敏(那賀)

島根県保護司会連合会会長表彰

岡本 正友(浜田) 澁谷 幹雄(浜田)

川神 陽子(浜田) 橋本 節美(那賀)

島根県知事感謝状

小林 國雄(那賀)

◎協力雇用主

犯罪歴のある人を、事情を理解した上雇用し改善更生に協力する民間の事業主です。社会復帰、再犯防止に貢献していただいています。

◎更生保護女性会

女性として(母)の立場から、地域社会の犯罪予防活動と犯罪を犯した人の改善更生に協力することを目的とするボランティア団体です。

◎BBS会

様々な問題を抱える少年・少女と、兄や姉のような身近な存在として接しながら、悩みを聞き相談にのり、健全育成に協力しています。

平成二十六年年度

島根県保護観察協会理事長表彰者

井岡ボクシングin島根江津(江津)

平成二十六年年度「社会を明るくする運動」

作文コンテスト 県審査会入賞者

小学生の部

島根県更生保護女性連盟会長賞

江津市立高角小学校 六年 奥平菜々子 題名 「心のつながり」

島根県BBS連盟会長賞

浜田市立原井小学校 五年 松井 貴彦 題名 「ごみ拾い隊」

中学生の部

島根県更生保護女性連盟会長賞

浜田市立金城中学校 三年 小川千重子 題名 「幸せになる方法」

島根県BBS連盟会長賞

江津市立青陵中学校 二年 横山菜々美 題名 「やさしさで包み込んで」

浜田地区保護司会

保護司数72名(H.27.6.1現在)

組織図

(順不同)

理事			
高橋 隆興(浜田)	岡田 義徳(那賀)	寺沢 順(那賀)	重幸(那賀)
野上 雄護(浜田)	賀戸 重幸(那賀)	後藤 直樹(那賀)	榮佑(那賀)
水口 清子(浜田)	後藤 直樹(那賀)	芳川 幸子(那賀)	厚(江津)
沖野 邦男(浜田)	芳川 幸子(那賀)	藤田 厚(江津)	三上 良紀(江津)
服部 孝之(浜田)	藤田 厚(江津)	三上 良紀(江津)	香順(江津)
江木 修二(浜田)	三上 良紀(江津)	三瀧 香順(江津)	立美(江津)
浦田 明彦(浜田)	三瀧 香順(江津)	村川 立美(江津)	統夫(江津)
岩永 孝吉(浜田)	村川 立美(江津)	豊田 統夫(江津)	
竹山 勝彦(浜田)	豊田 統夫(江津)		
松浦 三男(浜田)			

会長	
塩谷 法顕(那賀分区長)	
副会長	
小川 泰昭(浜田分区長)	
盆子原民生(江津分区長)	
常任理事	
永妻 壽則(江津分区事務局長)	事務局長
サポートセンター企画調整保護司	
杉田 雅弘(那賀分区事務局長)	センター長
サポートセンター企画調整保護司	
中田 嘉明(浜田分区事務局長)	会計
サポートセンター企画調整保護司	
事業	

監事	
瓦田 富子(浜田)	
齋藤 奈美子(那賀)	
和原 勝博(江津)	

浜田分区会員	牛尾 充子 広瀬 美子 平田 雅子 新田 哲朗 岡本 正友 澁谷 幹雄 福田 幸夫 藤浪 遊博	野藤 薫 小川 ひとみ ☆☆☆☆☆☆	那賀分区会員	岡本 正博 河野 宜子 丸山 義尚 齋藤 實 ☆☆ 江津分区会員	神山 哲夫 桑原 英寿 福間 徹雄 千代延 尚子 福富 孝男 富原 晴江 門屋 臣 牛尾 絹子 ☆☆
---------------	----------------------------------------------------------------------	--------------------------	---------------	--------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------

保護司の異動 平成26年7月1日から平成27年6月30日

◆退任されました

平成二十六年十二月三十日付

●法澤 邦彦(浜田) 定年

●益長 始(浜田) 定年

●島田 道州(那賀)

●川神 陽子(浜田)

●柿谷 惠之(浜田)

●西田 良子(那賀) 死去

●大源 富夫(江津) 死去

◆新任されました

平成二十六年十二月一日付

●齋藤 實(那賀)

昨年十二月一日、保護司の委嘱を受け、半年が経過し、総会や研修に参加して保護司の重責を感じています。皆様のご指導を仰ぎ職務を遂行したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

平成二十七年六月一日付

●後山 博美(浜田)

この度、保護司の委嘱を受け責任の重大性と不安が交錯していますが、反面、縁あって保護司の活動に携えることを誇りに感じております。社会を明るくする運動の精神に鑑み、微力ながら精一杯努めたいと思っております。

よろしくお願いいたします。

●野藤 薫(浜田)

六月一日付で、保護司の委嘱を拝命しました。今までPTA活動や地域の安全見守り活動などをして参りました。教育分野では「人は人によって人になる」と教えを受けました。保護司は重責ですが、頑張っ

永い間お疲れさまでした

●小川ひとみ(浜田)

この度、保護司の仲間入りをさせていただきました。何もわからないことからスタートで不安でいっぱいですが、新しい出会いを自分の糧にできるよう、先輩の方々に教わりながら一生懸命頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

敬 弔

生前のご功績を偲び謹んで哀悼の意を表します。

保護司 西田 良子 様

平成二十六年十二月二十八日逝去

前浜田地区保護司会 理事

保護司 大源 富夫 様

平成二十七年一月十一日逝去

前浜田地区保護司会 会長

編集後記

地域の皆さまのご理解とご協力のもとに暮れも迫る十二月十八日「浜田地区更生保護サポートセンター」が開設されました。このセンターは保護司会活動の拠点となることは言うまでもありませんが、この場に保護司が集い、情報交換の場となることを願っております。

また、地域の皆さまとの交流も大切に、安心・安全なコミュニティづくりに、積極的に参加しようと考えております。広報誌第七号を発行するにあたり、松江保護観察所園所長様、西江尚人課長様には、お忙しいなか玉稿を賜り感謝申し上げます。

編集委員 サポートセンター 企画調整保護司

